



**要旨** 薩摩東部衛生処理組合は合併と同時に解散し、新しい町による運営がされると報じている。今後合併協議会等において協議されると思うが、起債の償還や運営費の増大が住民への大きな負担となることが想定されるところから、入来町並びに祁答院町より発生する生し尿と浄化槽汚泥を、従来通り薩摩郡東部衛生処理組合のし

# 町水道未普及解消に 関する陳情書

れた陳情書2件を審査した結果、2件を採択としました。

尿処理場に投入処分で  
きるよう配慮していただきたい。

**陳情者** 鹿児島県環境  
保全協会那答院支部  
**支部長** 朝隈一誠 副支  
部長 松崎弘靖

**【採択】**

**理由** 3町長協議の結  
論として、3町の場合  
の維持管理では経費負  
担増となることや、住  
民説明会での住民の意  
向等を踏まえ、従来ど  
おり継続する。今後、  
この方向で構成町議会  
及び川薩地区法定合併  
協議会と協議するとの  
ことであり、今後の協  
議次第では流動的な部  
分が予想されると思わ  
れるが、従来どおりの  
区域で継続することが  
望ましいため。

**要旨** 旧下手集落の浦  
田萩の段地区の5世帯  
については、下手集落の

**町水道未普及解消に  
関する陳情書**

**指導の徹底、適地の選定等を要請**

## 經濟建設常任委員會

平成15年12月12日委員会を開会し、新ごぼうについて調査しましたので、概要を報告します。

①本町においては、生産者33名で15.6ha栽培されている。②出荷までの期間を143～156日とし、1期間5日で5期間に分けて播種されている。③生産者の平均年齢70歳で全戸にファックス完備。④植付時晴天が続き水かけに苦労したが、現在生育良好であり、今後ジベレリン等の使用により增收が見込まれる。

かごしま農業、農村ビジョン21具体化に向けた実践計画として、①後継者の掘り起こし②村づくりD型事業による選別機追加導入による労働軽減③10a当たり1tを10a当たり1.2tへの挑戦④面積拡大計画⑤加工品づくり等に生産者一丸となって努力されている。

新ごぼうについては需要がまだまだ多く、特産品として有望な作物であるが、高齢化の問題、一部に管理のばらつきが見られる。今後、品質向上、後継者、面積拡大等への波及効果を図るうえでも、指導の徹底、適地の選定、JA等関係機関との連携を十分検討されたいなどの要請がされました。

## 新ごぼうの調査

陳情者  
民館長 砂子田節男 受  
益者代表 大迫弘盛

採択にあたつての審査意見として、水道の普及は必要である。現在

市町村合併を目前に控えていることから、今後、合併後の新町において、隣接する地域から敷設するのが望ましいという意見が出された。

新年明けましておめで  
とうございます。  
合併期日まで一年弱  
まさに最終段階に入り  
本町議会も新町の将来  
像を見据え、活発な議

後編  
記集

平成10年11月  
発行責任者 東哲雄  
編集委員長 宮之脇金次郎  
II副委員長 四位芳彦  
編集委員 高嶺実樹、雄川口憲  
編集委員 下大迫幸太郎  
編集委員 中尾正男